

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月16日

事業所名：コスモ療育クラブ ファミリア五反田

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令に遵守したスペースの確保を行っています。	
	② 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令に遵守し、適切な職員配置を行っています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		お子様の状況に合わせた環境設定を行っています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		使用した道具の消毒・清掃を毎日行っています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		月1回以上の職員の個人面談を行い、目標達成に向けたPDCAサイクルを回しています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者の方に事業所評価のアンケートに記入していただいている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		今回の評価表の結果をまとめて、ホームページにて公開いたします。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	同法人内の専門家に来て頂き、評価やアドバイスをして頂いています。	今後東京都の第三者評価機関に依頼していく予定です。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		支援の質の向上に向けて、月に1回以上所内で研修を実施しております。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		計画期間毎に面談及びアセスメントをさせていただき、児童発達支援計画を作成させて頂いております。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		お子様の様子や状況を確認させて頂く為にアセスメントツールを使用しております。	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		ガイドラインの内容も基に、具体的な目標や支援内容を設定し児童発達支援計画を作成しております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関との連携	⑯ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		児童発達支援計画を確認してから活動プログラムを決めています。	
	⑰ 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		週案や各活動プログラムの立案・確認する会議を週1回以上行っています。	
	⑱ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		活動プログラムの立案の際に、お子様の様子や状況も確認し固定化し過ぎない様にしております。	
	⑲ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		お子様の状況や様子を確認・共有して児童発達支援計画を作成しております。	
	⑳ 支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		打ち合わせの時間を作り、情報の共有を行っております。	
	㉑ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		気づいた点等を会話する時間を設け、業務報告としてまとめております。	
	㉒ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		取り組み内容について毎回記録を取り、職員同士で確認や振り返りを行っております。	
	㉓ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		計画期間毎に面談及びアセスメントをさせていただき、計画の見直し及び更新をしております。	
	㉔ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		情報の共有をした児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	㉕ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		自治体や他事業所、相談支援事業所等とお子様の支援に関して連携を行っております。	
㉖	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	現在対象の方はいらっしゃらないのですが、支援をする場合は各関係機関と連携を行えるよう連絡系統を整理してまいります。	

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
㉙	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	現在対象の方はいらっしゃらないのですが、支援をする場合は各関係機関と連携を行えるよう連絡系統を整理いたします。	
㉚	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		<input type="radio"/>	保護者の方や相談支援事業所との情報共有の中で、各関係機関との連携を図っています。	一部の保育園や施設のみの連携になっている為、もっと関係各所とも交流をし、スムーズに移行できるような支援として、必要に応じて各関係機関と支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
㉛	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		<input type="radio"/>	保護者の方や相談支援事業所との情報共有の中で、各関係機関との連携を図っています。	スムーズに移行できるような支援として、必要に応じて各関係機関と支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
㉜	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		<input type="radio"/>	他事業所等と支援目標や支援内容の共有を行っています。また、実際に現場の見学にも来て貰い、助言を頂いています。	
㉝	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	同法人の保育所に行かせて頂く機会を設けています。	コロナ禍の現状で交流が難しい部分はありますが、近隣の保育所に行かせていただく機会を作る予定です。
㉞	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	連絡会議に参加させて頂いております。	
㉟	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		<input type="radio"/>	事業所として送迎をしていないのですが、保護者の方に送迎して頂いた際に現場を見て貰い様子や状況等を共有しております。	
㉟	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		<input type="radio"/>	無理のない程度にご自宅で取り組める内容を職員よりご提案させて頂きます。	
㉡	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		<input type="radio"/>	契約時や必要に応じて書面を基に説明させて頂いております。	
㉢	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		<input type="radio"/>	児童発達支援計画をご確認して顶いた際に、ガイドラインに沿っているかについて説明させて頂きます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		事業所として送迎をしていないのですが、保護者の方に送迎して頂いた際や電話にてご要望に即した助言や支援を行っています。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		コロナ禍の現状で交流が難しいですが、必要に応じて保護者の方同士の交流する機会を設ける予定です。保護者様からは、必要性を感じないという意見もある為、慎重に対応致します。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談や申し入れがあった際に迅速に職員間で共有し適切な対応を心がけて支援しております。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		<input type="radio"/>		掲示物やホームページ、配布物により活動報告や情報発信を行います。
	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		個人上保護法を遵守し、取り扱いには細心の注意を払っております。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		視覚支援や書面にて情報伝達出来るようにしております。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		コロナ禍の現状で交流が難しいですが、必要に応じて地域住民の方と交流できる場を作る予定です。午前中の保育療育で参加出来ればと考えています。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		各種マニュアルを策定し目に見える場所に配置しております。また月1回以上避難訓練を実施しております。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		月1回以上避難訓練を実施しております。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>		契約時にアセスメントとして服薬等のお子様の状況を書類に記入して頂いております。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		食事の提供を基本的に実行しておりません。	食物アレルギーのあるお子様につきましては、医師の指示書を基に対応する体制を整えます。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		事例をまとめて共有する書式に記入していきます。	事故を防ぐためにヒヤリハット事例があつた場合に迅速に対応・協議をしてまいります。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		マニュアルを基に職員全員に研修を行います。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		やむを得ず身体拘束を行う場合には委員会での決定、保護者の方の了解を経て児童発達支援計画に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。